

事業者向け放課後等デイサービス自己評価結果

令和2年7月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	利用時の多い日は部屋の分け方など危険の無いようにし、広さは十分確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	3	1	配置数はいるが、その時々状況把握や緊急対応等に、工夫と連携で対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	1	可能な箇所は用具やマット等を活用して、安全な移動への配慮をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	0	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	3	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	特に今の段階では所内での対応、及び、運営会議の連絡で処理できている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4	0	個々の担当制で行い、反省点等は話し合いで改善に臨んでいる。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	0	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	朝のミーティングで子どもの情報の共有。十分な確認のためには、打ち合わせが不可欠。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	1	4	1	状況によっては当日の確認が全員で行える時と、そうでない時がある。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	3	0		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	1	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	3	0	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2	0	医療的ケア児は対象になっていないが、特に配慮が必要な児はマニュアル作成と情報の共有、医師と連携を持ち対応している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	1	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	特に申し出があった場合は行うが、今まで対象児がいなかった。利用児が合うムーズに移行できるように、連絡や情報把握の上で計画立案している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	0	子どもの理解と療育の課題のための交流、及び、関係した研修に参加に自己研鑽に努めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	3	活動する機会は考えているが、長期休暇の施設利用となっている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	3	いまのところ機会が無い。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	連絡ノートでは伝わりにくいことは、お迎えの際に具体的に説明したり、学校等の情報共有の場に行っている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	1	ペアレントトレーニングは行っていないが、日頃から家庭で出来ることを提案している。自分から伝えるに難しい時は上司に相談し手伝ってもらうこともある。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	4	父母の会は無い。同系事業所開催の行事やスポーツ教室等の情報を提供し、共に参加している。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
③③	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			ミーティングを行い情報の共有を図っている
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2		解放としてではなく活動の様子を事前許可を持ったうえで、玄関に写真の掲示を行うことで、季節の活動を知らせている
③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	3	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			冊子にして玄関に置いてある
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		職員会にて、どんな支援をするとよいかを共通理解するとともに、研修に参加した職員から報告を受け学習に臨んでいる
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		1	身体拘束は行っていないが、疑問に思われることは随時意見として出し合い、配慮事項の詳細について検討している
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		2	現時点では対象児はいない。保護者に有無の確認は行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3		ヒヤリハットの記録は行っているが、事例集の作成までは行っておらず、記録に留まっている